

年間指導計画

モデルプラン 2・3年上

期	配当時数(例)	題材	教材	題材で取り扱う主な〔共通事項〕	取り扱う指導事項	題材の目標
1学期	前期	2	作者の思いを歌声にのせて合唱しよう	「生命が羽ばたくとき」	リズム、旋律、強弱、テクスチャ 表現・歌唱	イ(ア)、ウ(イ) ア 【知】「生命が羽ばたくとき」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 【思】「生命が羽ばたくとき」のリズム、旋律、強弱、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 【態】「生命が羽ばたくとき」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組む。
		3	サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう	▶リコーダー 「サムひとりごと」 「誰も知らない私の悩み」 「レヴェル・ブレイン」 「カノン2 優しき流れ」	音色、速度、旋律 表現・器楽	イ(イ)、ウ(ア) ア 【知】リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な息のコントロールやサミングなどの技能を身に付ける。 【思】音色、速度、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。 【態】リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習に取り組む。
	後期	2	旋律に合うリズムパターンをつくらう	「リズムパターンをつくらう」	リズム、テクスチャ、構成 表現・創作	イ(イ)、ウ ア 【知】音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解する。【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付ける。 【思】リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 【態】反復、変化、対照などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習に取り組む。
		2	曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	「小フーガ ト短調」	音色、旋律、テクスチャ、形式 鑑賞	イ(ア) ア(ア) 【知】「小フーガ ト短調」の曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 【思】「小フーガ ト短調」の音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「小フーガ ト短調」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】「小フーガ ト短調」の曲想と音楽の構造との関わりやパイプオルガンに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組む。
		2	曲の特徴を生かして歌おう	「You Can Fly!」	リズム、旋律、強弱、テクスチャ 表現・歌唱	イ(ア)、ウ(イ) ア 【知】「You Can Fly!」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 【思】「You Can Fly!」のリズム、旋律、強弱、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 【態】「You Can Fly!」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組む。
		2	曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう	「交響曲第5番 八短調」	音色、リズム、旋律、形式、構成 鑑賞	イ(ア) ア(ア) 【知】「交響曲第5番 八短調」の曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 【思】「交響曲第5番 八短調」の音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「交響曲第5番 八短調」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】「交響曲第5番 八短調」の曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの豊かな響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組む。
		3	曲の形式を生かして歌おう	「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」	リズム、旋律、強弱、形式 表現・歌唱	イ(ア)、ウ(ア) ア 【知】「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思】「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」のリズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 【態】「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組む。
		2	箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▶箏 「荒城の月」	音色、リズム、旋律、形式 表現・器楽	イ(ア)、ウ(ア) ア 【知】「荒城の月」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や押し手などの技能を身に付ける。 【思】「荒城の月」の音色、リズム、旋律、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。 【態】「荒城の月」の曲想と音楽の構造及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習に取り組む。
	2学期	2	五つの音とリズムを組み合わせて旋律をつくらう	「平調子の特徴を生かして音楽をつくらう」	リズム、旋律、構成 表現・創作	イ(ア)、ウ ア 【知】音階や言葉などの特徴について理解する。【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付ける。 【思】リズム、旋律、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 【態】音階や言葉などの特徴について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習に取り組む。
		3	曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう	「ボレロ」 組曲「惑星」から「火星」	音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成 鑑賞	イ(ア) ア(ア)(ウ) 【知】「ボレロ」「火星」の曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 【思】「ボレロ」「火星」の音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性について考え、よさや美しさを味わって聴く。 【態】「ボレロ」「火星」の曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの音色や響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組む。
2		パートの役割を生かして合わせて歌おう	「翼をください」	リズム、テクスチャ、強弱、構成 表現・歌唱	イ(ア)、ウ(イ) ア 【知】「翼をください」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 【思】「翼をください」のリズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 【態】「翼をください」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組む。	
2		雅楽の多様な表現を鑑賞しよう	雅楽「越天楽」	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成 鑑賞	イ(イ) ア(イ)(ウ) 【知】雅楽「越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史を理解する。 【思】雅楽「越天楽」の音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の固有性について考え、雅楽「越天楽」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】雅楽「越天楽」の音楽の特徴とその背景や歴史、雅楽の楽器に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組む。	
3学期	2	能の多様な表現を鑑賞しよう	能「敦盛」キリから	音色、リズム、旋律 鑑賞	イ(イ) ア(イ) 【知】能「敦盛」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解する。 【思】能「敦盛」の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、能「敦盛」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】能「敦盛」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組む。	
	4	曲想を味わいながら合わせて歌おう	「そよぐ風の中で」 「この星のどこかで」	リズム、テクスチャ、強弱、構成 表現・歌唱	イ(ア)、ウ(イ) ア 【知】「そよぐ風の中で」「この星のどこかで」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 【思】「そよぐ風の中で」「この星のどこかで」のリズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 【態】「そよぐ風の中で」「この星のどこかで」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組む。	
	2	郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう	「郷土の音楽や芸能」	音色、リズム、速度、旋律 鑑賞	イ(ウ) ア(イ)(ウ) 【知】郷土の音楽や芸能の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解する。 【思】郷土の音楽や芸能の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを味わって聴く。 【態】郷土の音楽や芸能の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組む。	

評価計画

モデルプラン 2・3年上

期	題材	教材	題材の評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期 前期	作者の思いを歌声にのせて合唱しよう	「生命が羽ばたくとき」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】 リズム、旋律、強弱、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう	▶リコーダー 「サムひとりごと」 「誰も知らない私の悩み」 「レヴェル・ブレイン」 「カノン2 優しき流れ」	【知】 リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。	【思】 音色、速度、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	【態】 リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習に取り組もうとしている。
	旋律に合うリズムパターンをつくろう	「リズムパターンをつくろう」	【知】 音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付けている。	【思】 リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	【態】 反復、変化、対照などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習に取り組もうとしている。
	曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	「小フーガ ト短調」	【知】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】 音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「小フーガ ト短調」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 曲想と音楽の構造との関わりやパイプオルガンに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
	曲の特徴を生かして歌おう	「You Can Fly!」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】 リズム、旋律、強弱、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう	「交響曲第5番 八短調」	【知】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「交響曲第5番 八短調」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの豊かな響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
2学期	曲の形式を生かして歌おう	「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	【思】 リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▶箏 「荒城の月」	【知】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や押し手などの技能を身に付けている。	【思】 音色、リズム、旋律、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習に取り組もうとしている。
	五つの音とリズムを組み合わせて旋律をつくろう	「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」	【知】 音階や言葉などの特徴について理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付けている。	【思】 リズム、旋律、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	【態】 音階や言葉などの特徴について関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習に取り組もうとしている。
	曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう	「ポレロ」 組曲「惑星」から「火星」	【知】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】 音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性について考え、「ポレロ」と「火星」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの音色や響きに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
	パートの役割を生かして合わせて歌おう	「翼をください」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】 リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	雅楽の多様な表現を鑑賞しよう	雅楽「越天楽」	【知】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	【思】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の固有性について考え、雅楽「越天楽」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 音楽の特徴とその背景や歴史、雅楽の楽器に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
3学期	能の多様な表現を鑑賞しよう	能「敦盛」キリから	【知】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	【思】 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、能「敦盛」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
	曲想を味わいながら合わせて歌おう	「そよぐ風の中で」 「この星のどこかで」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】 リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう	「郷土の音楽や芸能」	【知】 音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	【思】 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、郷土の音楽や芸能のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。